



2025 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ス テ ム イ ン テ グ レ ー タ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 引 屋 敷 智  
(コード番号：3826 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経 営 サ ポ ー ト 本 部 経 営 企 画 部 長 岩 井 智 史  
(TEL. 048-600-3880)

## 生産管理システム「mcframe」の販売開始に関するお知らせ

当社は、2025年1月14日付でビジネスエンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：羽田 雅一、東京証券取引所プライム市場 証券コード4828、以下「B-EN-G」）と、SCMパッケージ（生産・販売・原価システム）「mcframe」に関するビジネスパートナー契約を締結し、「mcframe」の販売を開始したことを下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 販売開始の背景

当社は、お客様の業務課題をシステムで解決する真の“システムインテグレータ”となることを掲げ、エンタープライズ領域をターゲットとし、「業務系システム」、「AI」および「開発ツール」の3つの事業ドメインに経営資源を集中して事業運営を行っております。また、事業ポートフォリオの見直しも行いながら、持続的な成長と株主価値の最大化に取り組んでおります。

他方、日本の製造業を取り巻く環境は、グローバル競争の激化や人材不足、エネルギー価格の高騰などにより、かつてない変化に直面しています。

当社はこれまで、ERPを中心とした基幹業務の効率化を支援することで多くの製造業のお客様に貢献してまいりました。しかし、今日では生産現場の効率化や品質管理の高度化、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進といった、より包括的な支援が求められています。

このような背景から、製造業のデジタル化をさらに推進するため、2024年9月1日付で新設したスマート製造ソリューション部において、「mcframe」の販売を開始することにいたしました。

「mcframe」は、日本でトップレベルの実績を誇る生産管理システムであり、世界17か国、2,000サイト以上で導入されています。

他方、当社は20年以上にわたる中堅企業向けERPおよび生産スケジューラのビジネス実績と経験を持っています。これらをもとに、「mcframe」の導入実績が少ない中堅プロセス製造業をターゲットとしてビジネス展開してまいります。

中堅プロセス製造業には、未だレガシーシステムを使用していたり、ERPを導入したにもかかわらず機能適合度が低く生産管理機能が効果的に使えていなかったり、また高額なコストが負担となり費用対効果を出せていないユーザーがたくさんいます。このようなユーザーに各種製造業で実績豊富な「mcframe」を活用してもらい、ユーザーのデジタル競争力強化を支援します。

## 2. 「mcframe」とは

「mcframe」は、日本の製造業がグローバルな競争で勝ち抜くためのものづくりデジタルイノベーションを推進するデジタルプラットフォームです。国内製造業のニーズをとらえ、組立加工からプロセス製造まで幅広い業種に対応しています。生産・原価・在庫・販売といった業務管理をはじめ、設計と製造のプロセス連携や現場のOT（運用技術）情報とIT（管理技術）情報の統合まで可能です。

また、多言語・多通貨対応や複数会社管理などのグローバル要件にも対応しており、世界17か国、2,000サイト以上で導入されています。海外拠点や現地パートナーによる充実したサポート体制で、日本の製造業の国際展開を支援しています。

## 3. 今後の見通し

当社は、新たに「mcframe」の販売を開始することで、弊社の主力製品であるGRANDITとの棲み分けを図り、組立加工系からプロセス系の幅広い業種のお客様に業務改善のご提案を行ってまいります。「mcframe」を中核に据え、生産スケジューラ、MES（製造実行システム）、S&OP（販売・操業計画）システムなどの各種ソリューションを一貫して提供することで、サプライチェーンマネジメント全体を包括的にカバーする体制を強化します。これにより、製造業のお客様がグローバル競争を勝ち抜くための積極的なIT投資を通じた生産性の向上、付加価値の創出に貢献してまいります。

なお、現時点において「mcframe」の販売が2025年2月期の業績に与える影響はありません。また、2026年2月期の業績に与える影響は軽微ですが、「mcframe」を含むスマート製造ソリューション部が手掛けるビジネスは、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。

以上